

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2011年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則ならびに本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 練習会場について

9月8日(木)～11日(日)の期間に、「練習会場注意事項」に基づき各練習場を使用することができる。

3. インフォメーション・センターについて

大会期間中の質問、抗議、苦情および書類の配布等の窓口はすべてインフォメーション・センターとする。インフォメーション・センターは、メインスタンド3階に設置する。インフォメーション・センター等の開設ならびに主な書類の配布・提出については、次のとおりとする。

区 域		開 設 時 間	開 設 場 所
参 加 校 受 付		8日(木) 13:00～17:00	崇城大学市民ホール(熊本市民会館)
インフォメーション・センター		大会期間中 開門時刻～閉門時刻	熊本県民総合運動公園陸上競技場メインスタンド3階
書 類 名		配 布 場 所	提 出 先 ・ 依 頼 先
1	不 出 場 届	日本学連ホームページ、インフォメーション・センターおよび招集所	競技者係(招集所)およびFAX
2	重 複 出 場 届	インフォメーション・センターおよび招集所	競技者係(招集所)
3	リレーオーダー用紙	競技者係(招集所)	
4	記 録 証 明 書	インフォメーション・センター	インフォメーション・センター
5	第4位-第8位の賞状	インフォメーション・センター	-

4. ナンバーカードについて

(1) ナンバーカードは、1名につき2枚配布する。

(2)トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識(1枚)を招集時に配布する。ただし、100m、100mH、110mH、5000m、10000mおよび10000mWに出場する競技者には、腰ナンバー標識を2枚配布する。なお、腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。

(3) ナンバーカードの布地および数字の色は次のとおりとする。

○男子：黄色地×黒数字 ○女子：ピンク地×黒数字 ○5000m、10000mおよび10000mW：オレンジ地×黒数字

(4) ナンバーカードは、参加校受付の際に配布する。

5. 不出場(棄権)について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「不出場届」を提出すること。

①9月8日(木)までは、日本学連ホームページ (<http://www.iuau.jp/>)に掲載してある「不出場届」に必要事項を記入し、FAX(03-5304-5569)で提出する。

②9月9日(金)以降はインフォメーション・センターならびに招集所に用意してある「不出場届」に必要事項を記入し、競技者係(招集所)に提出する。やむを得ず、競技者係(招集所)に提出できない場合は、FAX(03-5304-5569)で提出する。

6. 招集について

(1) 招集所は、第4ゲート付近(100mスタート地点後方)に設置する。

(2) 種目別の招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程に記載してある。ただし、混成競技については、「8. 競技について(3)」を参照すること。

(3) 所定の時刻に招集所で競技者係から当該種目に出場する競技者本人が点呼を受ける。その際、競技者は、ナンバーカードならびに商標等の点検を受ける。

(4) 競技規則第144条2(b)により携帯電話等の機器は、競技場内に持ち込むことはできない。

(5) 同時進行種目への出場競技者は、あらかじめ「重複出場届」に必要事項を記入し、競技者係(招集所)に提出すること。「重複出場届」は、インフォメーション・センターならびに招集所に用意してある。

(6) リレーオーダー用紙は、ラウンドごとに必要事項を記入の上、各ラウンドの第1グループの招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集所)に提出すること。

(7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目に出場できない。

7. 用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外すべて主催者が用意した用具を使用しなければならない。ただし、用具リスト(別紙)にない投てき物(砲丸、円盤、ハンマーおよびやり)は、持ち込みを認める。持ち込みを希望する競技者は、当該種目の招集完了時刻2時間前から1時間前までに用器具庫(バックスタンド1階・第2

ゲート横)にて投てき物の検査を受けること。ただし、持ち込みが認められた投てき物は主催者が借り上げ、当該種目のすべての参加競技者が使用できるものとする。また、返却は当該種目の競技終了後に検査を受けた用器具庫にて行う。

8. 競技について

(1) トラック競技について

- ①トラック競技における招集完了後の練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②トラック競技は、すべて写真判定システムを使用する。
- ③レーンが割り当てられた種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
- ④スターターの合図は、英語("On your marks","Set")で行う。
- ⑤不正スタートについては、競技規則第162条6、同条7 [国際]および同条8 [国際]を適用する。
- ⑥5000m、10000mおよび10000mWは、気象状況により給水を行う。
- ⑦本競技会の競歩競技において、競歩審判員主任が単独で競技者を失格にすることはない。(競技規則第230条参照)
- ⑧スタート地点とフィニッシュ地点が異なる種目では、招集所にて配布する指定された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで運搬する。

(2) フィールド競技について

- ①フィールド競技における招集完了後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ②走高跳・棒高跳の練習は、ゴム製バーを用いて行う。
- ③フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- ④走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1m95 2m10	2m00	2m05	2m10	2m13	2m16	2m19	+ 3 cm
	女子	1m55 1m65	1m60	1m65	1m69	1m73	1m76	1m79	
棒高跳	男子	4m70 5m00	4m80	4m90	5m00	5m10	5m15	5m20	+ 5 cm
	女子	2m90 3m20	3m00	3m20	3m40	3m50	3m60	3m70	

- ⑤投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投およびハンマー投予選の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。
- ⑥ハンマー投の予選は、熊本県民総合運動公園陸上競技場付帯投てき場にて行い、上位12名を決勝進出者とする。

(3) 混成競技について

- ①招集は、各日の最初の種目は招集所にて行う。各日の2種目以後は招集を行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従うこと。
- ②混成競技者控室は、男子がミーティングルーム4、女子がミーティングルーム1を使用すること。混成競技者控室への混成競技者および競技役員以外の立ち入りは、一切禁止する。
- ③男子十種競技の走高跳および棒高跳、ならびに女子七種競技の走高跳は、2ビットで行う。
- ④走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別			練習	1	2	3	4	5	6	以降
十種競技	走高跳	低	1m60 1m75	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	+ 3 cm
		高	1m70 1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m93	1m96	
	棒高跳	低	2m80 3m40	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	+ 10 cm

		高	3m80 4m20	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	
七 種 競 技	走高跳	低	1m30 1m40	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	+ 3 cm
		高	1m40 1m55	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	

(4) 競技結果と番組編成について

- ①競技結果および準決勝以降のスタートリスト等はメインスタンド3階に掲示する。
- ②競技結果の発表は、アナウンスをもって正式発表とする。
- ③競技結果等は記録処理終了後、随時、日本学連携帯サイトにて速報として発表する。
日本学連携帯サイト <http://www.iuau.jp/i/> (大会プログラム表紙のQRコード参照)
- ④タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がありレーンが不足する場合は、写真判定員が判定写真を拡大し、より細かいタイムを判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該競技者またはその代理人による抽選とする。

9. 抗議と上訴について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が正式発表されてから30分以内(次のラウンドが行われる種目では15分以内)に、その競技者または代理人がインフォメーション・センターに申し出ること。その後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。さらに、審判長の裁定に不服がある場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通して上訴審判員に上告することができる。

10. ドーピング・コントロール・テストの実施について

ドーピング・コントロール・テストは、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構および公益財団法人日本陸上競技連盟の規則に従い実施する。ドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。

11. 表彰について

- (1) 各種目の第1位から第3位までに入賞した競技者の表彰式を行う。
- (2) 表彰を受ける際、上衣は各校の公式ユニフォーム、下衣は各校の公式ジャージを着用すること。また、上衣には必ずナンバーカードをつけること。
- (3) 各種目の第1位から第3位までに入賞した競技者には、メダルと賞状を、第4位から第8位までに入賞した競技者には賞状を贈与する。
- (4) 第4位から第8位までの賞状は、当該種目の表彰式終了後30分を経過してからインフォメーション・センターにて受け取ること。
- (5) 対校得点は各種目、第1位が8点、第2位が7点、第3位が6点、第4位が5点、第5位が4点、第6位が3点、第7位が2点および第8位が1点とする。
- (6) 対校得点が同点の場合、上位入賞種目の多い方を上位とする。(優勝種目数が同数であれば、第2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様。)

12. 会場について

- (1) 競技用靴については、競技規則第143条を参照すること。
- (2) IDコントロールを実施するので、配布したIDカードは常に携帯すること。
- (3) 更衣室は、男子が更衣室3・4、女子が更衣室1・2を利用できる。更衣室は更衣のみに使用する。
- (4) 部旗、横断幕の掲出についてはスタンド上段のみ可能とし、掲出は先着順とする。なお、掲出の際は必ずひもを用いること。施設保護のため、粘着力の強いガムテープ等の使用は禁止する。また、主催者から移動等の要請があった場合は速やかに応じること。のぼり旗の掲出は禁止する。
- (5) バックスタンド1階でのトレーナー活動は、事前に主催者の許可を得た参加校に限る。
- (6) 主催者の許可なく競技場内の電源を使用することを禁止する。

13. 一般注意事項

- (1) 公益財団法人日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守する。
- (2) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターにて保管するが、その他の盗難および紛失に関しては、一切の責任を負わない。
- (3) 「記録証明書」の発行を希望する競技者は、インフォメーション・センターに申し込むこと。
- (4) 競技中に発生した障害・疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、2011年度社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、スポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

- (5) 競技運営に関すること以外での芝生への立ち入りは一切禁止とする。
- (6) 熊本県民総合運動公園陸上競技場の開門時刻および閉門時刻は次のとおりとする。

期 日	開 門 時 刻	閉 門 時 刻
9月8日(木) 【前 日】	12:00	18:00
9月9日(金) 【第1日】	7:00	競技終了後1時間
9月10日(土) 【第2日】	7:00	
9月11日(日) 【第3日】	7:00	閉会式終了後1時間

- (7) その他、不明な点等は、インフォメーション・センターに問い合わせること。